



配達業務時の労働災害防止について

配達業務時の労働災害が**増加傾向**にあります。

配達業務に関連する業種は、運送会社による荷物の配達をはじめ、郵便配達、新聞配達、また、外食産業による食事の出前・宅配、小売業による食料品や日用品の配達など、近年急速に需要が拡大し、私たちの生活に密接した仕事になっています。

配達業務に携わる方々が安全に仕事をする事ができるよう、皆様の職場の労働安全衛生活動や交通安全活動の確認をお願いします。



現在の安全衛生管理の状況を再確認しましょう！

【チェックポイント】

安全衛生管理、交通安全の担当者は決めていますか？

⇒安全管理者、安全衛生推進者、安全運転管理者などの管理者を選任し、役割、責任、権限を定め、管理者に必要な教育を行いましょよう。

採用時や、その後も定期的に安全衛生に関する教育を行っていますか？

⇒雇入れ時の教育、日常の教育、危険予知訓練を計画的に実施しましょよう。

配達する荷物の重さや持ち方、配達ルート等に安全上の問題はありますか？

⇒安全に作業できるよう、リスクアセスメントを実施し、「作業標準」を整備しましょよう。

ヒヤリハット・危険箇所等の情報を共有できていますか？

⇒随時、ヒヤリハット等の情報を収集し、「作業標準」等の見直し、情報共有をしましょよう。

急がせたり、焦らせたりしないための工夫をしていますか？

⇒配達時間に遅れないようにしたいとの焦りは不安全行動につながります。GPSを利用した配達進捗管理システムを導入して遅れ時間を連絡したり、ユーザー自身が確認できるようにし、配達員の心理的負担をなくすよう工夫している事業場もあります。

「動作の反動、無理な動作」による腰痛、捻挫等の災害防止



【災害事例】

被災者	業種	発生状況
30代女性	食料品小売業	積み重ねた複数の商品を床から持ち上げようとした時に、上に載せていた物が落ちそうになり、咄嗟に抱え込んだところ、腰を痛めた。
40代男性	食料品小売業	トラックの荷台から荷下ろし中、商品が想像していたよりも重く、手首を捻挫した。

【災害防止対策】

重量物を取り扱っている時の災害が多いので、「職場における腰痛予防対策指針」に基づく組織的な腰痛予防のための取組みをお願いします。 [指針はこちら⇒](#)



不安全行動を防ぐためには、労働者の安全意識を高めることも必要です。

作業前に一人KY(危険予知)活動として、指差呼称で「段差ヨシ!」「足元ヨシ!」と声を出し安全確認を行うことで安全意識が高まります。 [指差呼称のやり方はこちら⇒](#)



腰痛や捻挫等、人の行動が原因となる災害は完全になくすることはできませんが、作業前のストレッチでけがの程度を軽くすることができます。 [腰痛予防体操等はこちら⇒](#)



「転倒」災害防止

【災害事例】

被災者	業種	発生状況
80代男性	新聞販売業	夜間、歩いて配達中に、道路の階段でつまずき転倒して、右手首骨折等のけがを負った。

【災害防止対策】

- 転落・転倒災害発生箇所、ヒヤリハット事例発生箇所等、配達区域の危険個所の洗い出しによるヒヤリマップを作成しましょう。
- 服装は動きやすく、履物は滑りにくいものを着用しましょう。
- 暗い時間帯の配達には、道路の状態や危険個所等の発見が遅れ事故につながることもあるので、新しい配達ルートについては昼間の明るい時間帯に安全確認を行いましょう。
- 急がせたり、焦らせたりしないために、余裕のある配達時間を確保しましょう。
- 階段の上り下りは、荷物等をできるだけ片手で持ち、手すりを使用するか若しくは壁際を昇降しましょう。

STOP! 転倒災害プロジェクト



二輪車による「交通事故」防止

【災害事例】

被災者	業種	発生状況
70代女性	新聞販売業	夜間、バイクで配達中、軽トラに追突された。
30代男性	通信業	雨により流れ出た土砂に気付いたが、スピードを緩め前進し、タイヤを取られて転倒した。

【災害防止対策】

- 配達区域の危険個所の洗い出しによるヒヤリマップを作成しましょう。
(交通事故多発箇所、冬季の路面凍結、雨天時の冠水、土砂流入等含む)
- 日常的に交通危険予知訓練等で安全運転の意識付けをするようにしましょう。
- 夜間等見通しが悪い時は反射ベストを着用し、もらい事故を防ぎましょう。
- 暗い時間帯の配達には、道路の状態や危険個所等の発見が遅れ事故につながることもあるので、新しい配達ルートについては昼間の明るい時間帯に安全確認を行いましょう。
- 急がせたり、焦らせたりしないために、余裕のある配達時間を確保しましょう。
- 出発前に天候や道路状況を確認しましょう。また、事業者は、異常気象時には、走行の中止や安全な場所での一時待機等、労働者に適切な指示を行いましょう。



運転席・荷台からの「転落・墜落」等による災害防止



【災害事例】

被災者	業種	発生状況
60代男性	小売業	トラックから降りる際、上着の一部がサイドブレーキに引っ掛かり、一時宙吊りになった後、地面に落下した。

【災害防止対策】

- 昇降する際は、グリップ・ステップを使って、3点確保(支持)しましょう。
- 降りる際は、できるだけグリップ等を長い間持ち続け、ゆっくりと足を着地させましょう。

【参考資料】中央労働災害防止協会とりまとめ

「配達業務を安全に」～リスクアセスメント、交通事故防止対策などの活動好事例集～

